

[第1回]学校運営協議会

と き／令和7年5月19日（月）19：00～20：00

ところ／南が丘小学校 ふれあいホール

1 報告事項

（1） 令和7年度学校経営方針の確認と令和6年度学校自己評価の取組の総括・学校の現状について

本年度の主な取り組みの報告を行いました。内容は以下の通りです。

学校経営方針の確認として、8つの重点取り組みの一つである「確かな学力の楽しい英語教育」の行動計画として、今の子どもたちは知識を持っているため、ペアやグループで学ぶことでさらに自分の問いを思いつくように、その中から自分の思ったものを見つけていくという授業の転換期になっている。また、「人権教育」の行動計画として、全ての児童が安心して来れるために、学校に来にくい子や学校に来て教室に行けない子が数名いる。昨年度設置の校内支援センターを継続し、机だけの無機質の部屋ではなく簡単なゲームや環境整備をすることで少しずつ学習に向かうことができてきた。

めざす教師像として、子どもの心に寄り添っていくことを考えていきたい。今までの教師が子どもに教え込むという考えではなく、幼児教育における関わり方から学び、児童の様子を見て、子どもたちが今何を思っているかなどを考え、その際に必要なものを用意するやり方や考え方をし、関わってきたい。そして、どんなことを学ぶのか、何を追求するか、だれと学ぶのかなど自ら学ぶことに繋げていきたい。

南が丘小学校の現状としては、自分に自信のない児童が一定数いる。学校としては、「自分も友だちも大切にし、思いやりのある言動ができる子」がめざす子ども像の目標となっていることも踏まえ、異学年交流や委員会のイベントを計画し、互いを知る活動を意識して設けている。

評価規準表での、徳領域「自分や相手の気持ちを大切にし、いつも周りに思いやりのある行動をし、優しい言葉を使うことができる」という項目を「自分や相手の気持ちを大切にし、周りに思いやりのある行動をし、優しい言葉を使うことができる」にして、「Aいつも、B時々、Cできなかった」とあるが、「Aほぼ毎日、Bできた、Cほとんどできなかった」でいいのではないかという意見が出た。また、めざす子ども像の中にある、知領域「進んで、他者と協働し、自分の学びを深める子」の項目について、「協働には教師の規準があるのか」「協働という意味が広い」という意見に、「協働の意味が違ってくる」「評価も違ってくる」「職員間でも共有する」という意見が出た。

2 連絡事項 今後の予定

- ・ 第2回学校運営協議会：10月20日（月）
- ・ 第3回学校運営協議会：3月9日（月）

